

「つみきとあ・そ・ぶ」に参加して

家族の話題に！

「特定 NPO 法人幸せな家庭環境をつくる会」の活動は、「幸せ家族に役立つ住宅とは何か」を基本にした家づくりを追求し、提供しているグループです。住まいの生活の中に、ご家族の会話の重要性について一考して頂きたく、その話題の一助として「つみきとあ・そ・ぶ」を提案しています。

私たちは「住まい」を建物であると同時に「人を育て育む環境である」とし、少しでも良い環境の住まいを提供するために、敷地の自然力の調査、そして隣地の影響力などを分析、日影の影響力等を考慮し、環境を整えなければなりません。そして、お施主様の要望に知恵を出し合いながらプランニングを行ってまいります。

その目的は、利用価値の高度化（幸せな家庭の永続する住宅）を追求し続けながら、「幸福を生む住まい」を具現化するという「環境づくり」です。つまり住まう人に影響を与え続ける住まいという環境を、より良いものとして提供しなければなりません。

しかし、家を建てても家族間に色々な問題が発生すればその地域に住み続けるのは難しい。よって「幸せな家庭環境をつくる会」は、「家族の楽しい会話」の一助になるものとして「つみきとあ・そ・ぶ」のボランティアを行っています。ご活用下さい。

それは、家族の会話の話題を提供することです。この話題により子供の時から親と話しができるようなになれば、自分自身の気持ちをまとめて話しができるようになるのではと考えます。

「つみきとあ・そ・ぶ」での子供たちの行動、発することは、知らない子供との協同作業の姿など、更に子供の心の動きまでも観察して頂き、夫又はご家族に話しをしながら子供の言葉を引き出してあげて欲しいのです。これが「つみきとあ・そ・ぶ」の基本的考えです。

子供は自分自身が体験したことですから、誘導してあげれば話すようになります。はじめはまとまりがないでしょうが、それが今の實力だと、それに親に話しをするのも今日まで少なかったでしょうから。しかし「親がまとめてはいけません」。ここは、堪えて順番に聞いていく。どんなことが面白かったか、何が気に入ったか、「どうしたらまだ面白くなるか」など、頭の回転を興味のあることで考えたことを言わせる（待つことが大切です）ようにしていけば、自分の考えをまとめてくるようになる（焦るな、待って考えさせてみる。自分だったらどうやりたい、反応を待つ。答えを焦ってはいけない）と思います。笑顔で褒めてあげながら子供の目を見てあげ、包んであげる心で、慈しむよう

に親は接して欲しい。少し鏡でも見て顔を作る練習を俳優のように練習することも必要でしょう。子供はあなたの持物ではない。社会に認めてもらえる人間として「活力ある人間」「孤独に耐え常に前向きに生きていける」、それに「思い遣り」、そして「家族愛に満ちた人間に育て上げねばならない」のですから、と思っています。

長府東公民館 毎月第一土曜日 13:30~16:00

※カメラ、タオル、飲み物 ご持参下さい。

(TEL・FAXにて申込み 20名まで) 無料

感想

- ・2~3日子供から木の臭いがするようになります。
- ・子供の集中力がついた。
- ・協力するようになった。
- ・人の話を聞くようになった。
- ・図形がわかるようになった。
- ・少し合わないようですという答えもあります。
- ・崩す時が一番好きなようです。また行きたいと言っています。
- ・木のやわらかさや手にやさしい、あたたかい。目にやさしい色。
- ・楽しみにしているようです。

特定 NPO 法人「幸せな家庭環境をつくる会」山口支部

下関市長府港町 7-71 福利産業(株)材木店内

TEL083-245-1163 FAX083-245-3590

※**住まい教室** : 4時間位 9:00~、13:00~、18:00~ (2名以上)、
(無料 お申込み下さい) (ご夫婦でを基本にします)

“住まい”の統一的理解をもたれますと、更なる構想の
始まりとなることを願って、行っています。